

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 30年 7月 27日

【事業所概要（事業所記入）】

| | | | |
|---------|------------------------------------|-----------|--|
| 事業所番号 | 3470204359 | | |
| 法人名 | 有限会社 誠友 | | |
| 事業所名 | グループホーム「こもれびの家」 | | |
| 所在地 | 広島市西区山手町10番6号 (電話) 082-532-1266 | | |
| 自己評価作成日 | 平成30年7月1日 | 評価結果市町受理日 | |

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

| | |
|-------------|---|
| 基本情報リンク先URL | http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_2017_022_kani=true&JigyosyoCd=3470204359-00&PrefCd=34&VersionCd=022 |
|-------------|---|

【評価機関概要（評価機関記入）】

| | |
|-------|----------------------|
| 評価機関名 | 一般社団法人広島県シルバーサービス振興会 |
| 所在地 | 広島市南区皆実町一丁目6-29 |
| 訪問調査日 | 平成30年7月25日 |

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

利用者一人ひとりにある出来ること、したいことを引き出し、日々の生活の中にそれを活かし、ホームの中で必要とされていると実感し、居心地よく暮らせるよう支援していきます。もうひとつの家族と感じてもらえるよう、ぬくもりのあるホームを目指しています。近所の方の指導を受けながら、家庭菜園で野菜や花を育てています。収穫した野菜を食事に活用するなど、旬の食べ物を口にして季節感を感じてもらえるように努めています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

理念「皆様の可能性を引き出し、たくさんの笑顔がいただけるよう支援します」の下、笑顔があふれる事業所を目指し、職員一同取り組んでいる。利用者一人ひとりが出来ることを探し、モップでの床掃除・洗たく物干し・おしぼりたたみなどの作業を一緒に行っている。利用者が作業をすることで「必要とされる」と実感し、帰宅願望や妄想が軽減したと管理者は話している。「家庭菜園」では野菜を栽培しているが、近所の方の指導で育ち、利用者が収穫して食事に利用している。事業所内での検討事項：転倒防止のためのベッド柵使用、歩行困難者の為の器機の使用・・・などについては、職員が話し合いを重ねて問題解決に当たっている。

| 自己評価 | 外部評価 | 項目(Aユニット) | 自己評価 | 外部評価 | |
|-------------------|------|--|--|--|--|
| | | 上記項目欄の()内へユニット名を記入願います | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | 1 | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。 | 「原点はお客様」皆様の可能性を引き出し、たくさんの笑顔がいただけるように支援いたします。利用者へ寄り添い、もうひとつの家族のように感じていただけるよう努めています。 | 経営理念の下に職員と考えた事業所理念があり、職員会議で職員に理念を周知させている。事業所理念の中の「たくさんの笑顔」が利用者に見られるように職員と取り組んでいる。 | 事業所理念を実践する為に取り組んでいるが、どれくらい達成できたかが検証されていないようである。今後は、職員と一緒に、達成度を評価して次年度に繋げることを期待します。 |
| 2 | 2 | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。 | ご高齢な方が多く、なかなか地域の行事に参加できない現状はあるが、ホーム近隣を散歩したり地域のお店で買物をしたりしている。また、家庭菜園(野菜や花を育てる)を通じてご近所の方の指導を得ながら、地域とのつながりを大切にしている。 | 町内会に加入し、町内清掃に協力している。夏祭り・とんどなどの地域行事に利用者が参加し、地域住民と交流している。事業所の菜園で野菜を育てているが、近所の方が助言指導して交流を深め、親子が菜園のかぼちゃを見に来ることもある。 | |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。 | 特段地域の人々に向けて何かを取組んでいるわけではないが、介護全般にお困りの方の相談をいつでも受け付けている。 | | |
| 4 | 3 | ○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。 | 議事録を家族に送付し、町内会や民生委員や地域包括からの意見を共有している。また、本部にも議事録を共有することで、運営全般のサービスの向上に活かしている。 | 運営推進会議には、地域代表として民生委員・町内会副会長、家族、地域包括支援センターが出席し、活発な意見交換が行われている。出席者より、市の施策「いきいき活動ポイント事業」への事業所登録を提案されたが、事業所内で検討し利用者の観点より、今回は登録を見送った。 | |
| 5 | 4 | ○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。 | 必要に応じて担当者と連絡を取り合うことは実施している。生活保護受給者が入居しているため、生活保護の担当者とも連携を図っている。 | 地域包括支援センター主催の研修会に参加し、「認知症で困った案件」について意見交換した。地域包括支援センターとの間では、利用者家族の問題を相談したり、利用者受け入れ相談に応じたりと連携している。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目(Aユニット) | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|--|--|-------------------|
| | | 上記項目欄の()内へユニット名を記入願います | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 6 | 5 | ○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。 | 基本的に身体拘束をしないケアを実践しているが、事故防止の観点から次の2点をご家族の了解のもとで実施している。 ①転落防止のため館内の窓にストッパーを設置 ②立地上、太田川沿いで交通量の多い幹線道路と線路に挟まれた場所にあるため、玄関の施錠は行っている。 | 身体拘束に関する研修を行い、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。事業所近くに線路があり危険なので、家族の了解を得て、玄関を施錠している。ベッドから転倒し骨折した利用者が退院後、家族は転倒防止の為にベッド柵の固定を希望したが、職員は家族と協議し柵を設けず見守った。 | |
| 7 | | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。 | 研修を通じて職員に理解を求めている。 | | |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。 | 研修を通じて職員に理解を求めている。 | | |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。 | 契約の締結や解約については、管理者が行い、必要に応じて本部の担当者が同席して対応している。特に退去時の取り扱いや金銭に関わる点については丁寧に説明をして、理解を求めている。 | | |
| 10 | 6 | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。 | ご家族のご意見や要望は常に受けている。玄関にご意見箱を設置し、直接職員に手渡しせず投函できるようにしている。受付けた意見や要望は対応可能なものから実施している。 | 家族が来所した際に、家族の意見・要望を積極的に聞いている。玄関には「意見箱」を置いているが、今のところ意見は入ってない。もっと意欲的に過ごしてもらいたいとの家族の要望に、家族・職員が検討し、工作好きの利用者と職員が一緒に段ボールでゾウの模型を作成したこともある。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目(Aユニット) | 自己評価 | 外部評価 | |
|-----------------------------|------|---|--|--|-------------------|
| | | 上記項目欄の()内へユニット名を記入願います | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 11 | 7 | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。 | 月1回フロアミーティングを行い、管理者と各フロアのリーダーで運営に関する課題などを話し合う機会を設けている。 | 月1回開催される職員会議で、職員の意見を聞いている。職員が、歩行困難な利用者に対してシャワーキャリーの使用を提案した。その後シャワーキャリーを実際に使用して使用状況を検証し導入するか検討した。 | |
| 12 | | ○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。 | 半期ごとに人事評価における目標設定を行っている。自己評価に基づき、管理者が面談し、それぞれの目標に対してアドバイスをしている。 | | |
| 13 | | ○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。 | 施設内研修を定期的に行っている。今期は外部講師（薬剤師と歯科医師・歯科衛生士）を招いて研修を予定している。 | | |
| 14 | | ○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。 | 外部研修に参加した際などに同業者との交流を図っている。今後は同法人内の他事業の職員と勉強会や交流を図れる機会を計画していきたい。 | | |
| II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。 | 入居前に本人、家族と事前面談を行い、アセスメントをとり不安や要望をヒアリングしている。事前面談で取得した情報を速やかにスタッフに提供することで、入居後不安なく生活ができるように努めている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目(Aユニット) | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|--|-------------------|
| | | 上記項目欄の()内へユニット名を記入願います | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 16 | | <p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p> | <p>事前面談で家族等の不安や要望をヒアリングし、気軽に相談できる雰囲気作りを心がけている。</p> | | |
| 17 | | <p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p> | <p>スタッフが専門的な見地から課題を見極め、ケアプランに優先度の高いサービスを位置づけるようにしている。</p> | | |
| 18 | | <p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p> | <p>スタッフは家族的なかかわりを大切にし、その方のできることを尊重し日々の生活に取り入れるようにしている。また、レクリエーションなどを通じて他の入居者との関わりを支援している。</p> | | |
| 19 | | <p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p> | <p>できるだけ面会にお越しいただけるように行事等の案内を送ったり、日常生活のいち場面を写したアルバムを玄関に設置するなど、ホームでの生活を理解いただけるように努めている。</p> | | |
| 20 | 8 | <p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p> | <p>昔からのつながりのある友人や知人なども面会があったり、手紙が届いたりしている。</p> | <p>馴染みの人や場所との関係の継続を大切にし支援しているが、その事例として次のことがある。かつて茶道の先生をしていた頃の生徒さんが、近所で催されるお茶会の際に事業所に立ち寄り利用者と親交を深めた。利用者が住んでいた家を訪ねて昔を懐かしむ手助けをした。</p> | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目(Aユニット) | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|--|------|-------------------|
| | | 上記項目欄の()内へユニット名を記入願います | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。 | 日常の活動を通じて、利用者同士が交流を図れる機会を設けている。交流が難しい方には職員が介入して、できるだけ同じ空間で取り組むことができるように支援している。 | | |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。 | 退去後に相談を受けた実績はないが、手紙と入居時の写真を送付した。今後も利用終了者やその家族等から連絡が入った場合は、サポートに努めていきたい。 | | |

Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

| | | | | | |
|----|---|---|---|---|--|
| 23 | 9 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。 | 利用者毎に担当職員をつけており、一人ひとりのホームで生活するうえでの意向をヒアリングしている。意思表示が難しい方については、その方の思いを推察し、ご家族の意見を踏まえ、本人本位で検討している。 | 利用者毎に担当者を決め、担当者が利用者の意向・要望を把握する。職員が日常会話から得た情報は、職員会議で報告される。これらの情報を基に利用者の意向をケアプランに反映している。夫婦で入所している利用者が喫茶店に行く計画を立て、楽しんだ事例がある。 | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。 | 入居前に本人、家族と事前面談を行い、生活スタイルや趣味などをホームでのサービスにつなげている。 | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。 | アセスメントを通じて一人ひとりの生活を把握している。活動についてもそれぞれの過ごし方を尊重し、無理強いをしないように努めている。また、自分で出来ることは行ってもらうように支援している。(洗濯物たたみ、掃除、調理前の下処理など) | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目(Aユニット) | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|---|-------------------|
| | | 上記項目欄の()内へユニット名を記入願います | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 26 | 10 | <p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p> | <p>各担当によるアセスメントやモニタリングをもとに、計画作成担当者が本人や家族の意向を踏まえて作成している。サービス担当者会議に出席してもらい、参加が難しい場合は事前に意向を確認している。</p> | <p>利用者毎に担当者を決め、担当者がアセスメント・利用者の要望・モニタリングを主として行う。その後、管理者・ケアマネージャー・フロアリーダーが協議してケアプランの見直しを行っている。</p> | |
| 27 | | <p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p> | <p>日々の生活記録に記入している。課題などが発生した場合は、フロアリーダーや管理者に報告し、サービスを改善したりケアプランの見直しを図っている。</p> | | |
| 28 | | <p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p> | <p>歩行状態が低下した利用者に対して福祉用具業者と連携し、歩行器のレンタルを手配したり、個々のニーズに対して迅速に対応している。</p> | | |
| 29 | | <p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p> | <p>近所に買物をする場所がコンビニのみ。散歩の距離としては充分で、外出欲求の強い方と出かけたり、ホームの牛乳や本人の好きなもの、必要なものを選んで購入するという、これまでの暮らしのなかでやっていたことを、地域の資源であるコンビニを利用することで思い出し、楽しんでもらえるように支援している。</p> | | |
| 30 | 11 | <p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p> | <p>2週間に1度主治医の往診がある。入居前からのかかりつけ医がいれば、家族の通院にはなるが、ホームでの生活状況を情報提供している。</p> | <p>利用者・家族の要望により、かかりつけ医を決めている。事業所の協力医は2週間に1回往診し、利用者の健康状態を把握している。利用者は、協力医を内科的な主治医としているが、今まで受診していた専門医をかかりつけ医とする利用者もいる。</p> | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目(Aユニット) | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|---|-------------------|
| | | 上記項目欄の()内へユニット名を記入願います | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 31 | | ○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。 | 週1回訪問看護師に利用者の健康状態をFAXにて情報提供している。健康面で気になる方がいれば、その都度連絡し、医療面の指示等を仰ぎ、必要に応じて通院を行っている。 | | |
| 32 | | ○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入院時には、必ず体調やホームでの生活状況を入院先に情報提供している。退院時には、医療機関の退院カンファレンスに参加し、戻ってきてからのサービスにつなげている。 | | |
| 33 | 12 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。 | 重度化対応・終末期ケア対応指針を家族に提示し、同意を得ている。なじみの関係での生活を維持できるように、医療関係者などを中心に支援に取り組んでいる。 | 入居時には、「利用者が重度化した際には、医師・家族と相談して状況を勘案して対応する」と説明している。実際に利用者が重度化した際には、医師の判断を尊重し家族と相談して今後の方針を決め支援している。 | |
| 34 | | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。 | 緊急時には緊急連絡網を活用し、速やかに対応できるようにしている。また、救急救命講習の受講を励行している。 | | |
| 35 | 13 | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。 | 年2回の消防訓練を行い、災害時に対応できるようにしている。また、ホームが河川付近に建っているので土砂災害時の避難確保計画を策定し、災害時は避難できるようにしている。 | 年2回、消防訓練を行っているが、1-2回は夜間を想定した訓練としている。利用者は実際に訓練に参加し、職員は避難経路を確認している。今回の豪雨をふまえて市からの依頼により、「災害に対する避難計画」を作成した。また今後、災害訓練を行う予定である。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目(Aユニット) | 自己評価 | 外部評価 | |
|--------------------------|------|---|--|--|-------------------|
| | | 上記項目欄の()内へユニット名を記入願います | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | 14 | ○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。 | 一人ひとりの性格や生活歴を理解したうえで、その人に合わせた言葉かけや対応を行っている。 | 人権擁護の研修を行っている。利用者となれ合いにならず尊敬し合える関係を構築する為に、丁寧な言葉使いをするように指導している。申送り時には、プライバシーに配慮し、利用者の名前ではなく部屋番号で伝えている。 | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。 | 日常生活でサービスを提供するときは、必ずどうしたいかを確認したうえで行うようにしている。1階フロアは全入居者が女性なので、1日のはじめにどの服を着るか確認し、自分で好きな色と柄を決めていただいている。 | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。 | 基本的な日課は決まっているが、レクリエーションなどで気分が乗らない時は休んでいただいたり、希望により外気浴を行うなどして、利用者本人のペースを大切にしている。 | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。 | 訪問理美容が2ヶ月に1度来ている。洋服の購入についても、希望があれば職員と一緒にいく事もある。また、口紅やマニキュアなどのおしゃれも楽しんでいる。 | | |
| 40 | 15 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。 | 行事などでは、食事の下ごしらえや盛り付けなどを手伝ってもらったり、後片付けも一緒に行っている。ホームの畑で育った野菜と一緒に収穫し、調理して食卓に提供することで季節を感じ楽しんでいただいている。 | 食材配達サービスを利用し、献立は予め決められているが、行事の際には献立を変更し、菜園の野菜を利用することもある。誕生会では、すし飯や赤飯とし、おはぎ・いなり寿司・お好み焼きなどを利用者と一緒に作って楽しむこともある。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目(Aユニット) | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|--|-------------------|
| | | 上記項目欄の()内へユニット名を記入願います | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。 | 個々の食事形態を把握し、食事量を記録している。やわらか食を提供したり、体重等を確認しながら高カロリー飲料を提供するなどして、体調管理に努めている。水分についても脱水症状にならないように定期的に水分を提供している。 | | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。 | 毎食後、口腔ケアを実施している。週1回訪問歯科診療が来訪しているので、口腔の問題が発生した場合には、速やかに連携を図っている。歯科医師から口腔ケア後の仕上げの歯磨きが必要な方に関しては、歯間ブラシを使った介助も行っている。 | | |
| 43 | 16 | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。 | 一人ひとり排泄記録をつけており、便秘の方には排便コントロールを行い、無理なく排泄ができるように支援している。また、ポータブルトイレを活用し、夜間安全に排泄できるように取り組んでいる。 | 利用者の排泄パターンを把握してトイレ誘導している。牛乳やファイバーを使用して排便コントロールを行っている。リハビリパンツから布パンツに改善した利用者が3人いる。 | |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。 | 便秘解消を下剤だけに頼らず、お通じの改善に役立つ食物繊維を飲用してもらっている。また、体操や歩行などを通じて、腸を動かすように努めている。 | | |
| 45 | 17 | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。 | 基本的には1週間に2度は入浴できるように、曜日を決めて対応しているが、体調や外出等の場合は変動して対応している。 | 週2回入浴するようにし、主として午後に入浴している。入浴を拒否する人には、入浴予定日に関わらず入浴を促し、利用者が機嫌よく入浴するようなタイミングを逃さず、入浴して頂いている。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目(Aユニット) | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|--|-------------------|
| | | 上記項目欄の()内へユニット名を記入願います | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 46 | | <p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p> | <p>昼夜逆転にならないように、日中はできるだけ活動や外気浴をすることで、夜間安眠ができるように支援している。</p> <p>日中も短時間居室で休息できる時間も設けている。</p> | | |
| 47 | | <p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p> | <p>一人ひとりの処方内容をファイリングし、職員は常に確認できるようにしている。薬局とも連携し、薬の形状(散剤⇔錠剤)を見直したり、トロミをつけるなど、利用者が服薬しやすいように配慮している。</p> | | |
| 48 | | <p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p> | <p>ホームの手伝いを行うことで精神的に安定を図れる利用者もいるので、手伝い(掃除や洗濯物たみなど)をお願いしている。行事には外出や嗜好品の購入などを行い、日々の生活に喜びや楽しみをもてるように支援している。</p> | | |
| 49 | 18 | <p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p> | <p>日常的な外出支援は難しいが、洋服や化粧品などの買物の希望があれば可能な限り外出支援を行っている。家族に対しても無理のない範囲で外出機会を設けていただけるようお伝えしている。昨年は広島市内のマリホ水族館に全員で外出しました。</p> | <p>利用者が室内に閉じこもらず、出来るだけ外に出るようにしている。事業所周りを散歩したり近所のコンビニに買い物に行くこともある。遠出外出として、花見や水族館に行くこともある。</p> | |
| 50 | | <p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p> | <p>利用者がお金を自分で管理することはないが、買物の際などの支払い時に職員の見守りのなかで代金を払っていただくことはある。</p> | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目(Aユニット) | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|--|-------------------|
| | | 上記項目欄の()内へユニット名を記入願います | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 51 | | <p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p> | 利用者本人からの依頼があればいつでも対応可能としている。 | | |
| 52 | 19 | <p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p> | 利用者が集まる食堂は、季節の歌や共同で作成した製作物を掲示し、家庭的な雰囲気を作り出している。また、毎日換気を行い室温調整を行うことで、感染症を予防し快適に過ごせるように配慮している。 | 施設内を清潔に保つように、朝・昼・夕と1日3回、利用者が触れることの多い手すり・ソファ・ドアノブを消毒している。冬季は湿度に留意して、加湿器を設置し各部屋にぬれタオルをかけて対応している。 | |
| 53 | | <p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p> | 一人で過ごしたい場合はいつでも居室で過ごすことができる。気の合う利用者同士でコミュニケーションが取れるように、座席を近くに作るなどの配慮をしている。 | | |
| 54 | 20 | <p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p> | 入居前に利用者本人が使い慣れたものをご持参いただくように伝えている。昔使っていたものが近くにあることで、落ち着いて過ごすことができるように工夫している。リクライニングのチェアやミシンなど、本人らしさのある居室にしている。 | 今まで使用していた馴染みのダンスや鏡台などの家具を持ってきて頂いている。今まで大事に使用していたミシンや仏壇・神棚を持参して、居心地よく過ごせるように工夫している。 | |
| 55 | | <p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p> | 居室にはそれぞれ利用者の顔写真と名前が貼られており、自分でどの居室が判別できるように工夫している。また、花を生けることのできる方に生けてもらったり、利用者ができることを活かせるように支援している。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目(Bユニット) | 自己評価 | 外部評価 | |
|-------------------|------|--|--|------|-------------------|
| | | 上記項目欄の()内へユニット名を記入願います | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | 1 | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。 | 「原点はお客様」皆様の可能性を引き出し、たくさんの笑顔がいただけるように支援いたします。利用者へ寄り添い、もうひとつの家族のように感じていただけるよう努めています。 | | |
| 2 | 2 | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。 | ご高齢な方が多く、なかなか地域の行事に参加できない現状はあるが、ホーム近隣を散歩したり地域のお店で買物をしたりしている。また、家庭菜園(野菜や花を育てる)を通じてご近所の方の指導を得ながら、地域とのつながりを大切にしている。 | | |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。 | 特段地域の人々に向けて何かを取り組んでいるわけではないが、介護全般にお困りの方の相談をいつでも受け付けている。 | | |
| 4 | 3 | ○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。 | 議事録を家族に送付し、町内会や民生委員や地域包括からの意見を共有している。また、本部にも議事録を共有することで、運営全般のサービスの向上に活かしている。 | | |
| 5 | 4 | ○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。 | 必要に応じて担当者と連絡を取り合うことは実施している。生活保護受給者が入居しているため、生活保護の担当者とも連携を図っている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目(Bユニット) | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|---|------|-------------------|
| | | 上記項目欄の()内へユニット名を記入願います | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 6 | 5 | <p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p> | <p>基本的に身体拘束をしないケアを実践しているが、事故防止の観点から次の2点をご家族の了解のもとで実施している。</p> <p>①転落防止のため館内の窓にストッパーを設置</p> <p>②立地上、太田川沿いで交通量の多い幹線道路と線路に挟まれた場所にあるため、玄関の施錠は行っている。</p> | | |
| 7 | | <p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p> | <p>研修を通じて職員に理解を求めている。</p> | | |
| 8 | | <p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p> | <p>研修を通じて職員に理解を求めている。</p> | | |
| 9 | | <p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p> | <p>契約の締結や解約については、管理者が行い、必要に応じて本部の担当者が同席して対応している。特に退去時の取り扱いや金銭に関わる点については丁寧に説明をして、理解を求めている。</p> | | |
| 10 | 6 | <p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p> | <p>ご家族のご意見や要望は常に受けている。玄関にご意見箱を設置し、直接職員に手渡しせず投函できるようにしている。受付けた意見や要望は対応可能なものから実施している。</p> | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目(Bユニット) | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|------|-------------------|
| | | 上記項目欄の()内へユニット名を記入願います | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 11 | 7 | <p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p> | <p>月1回フロアミーティングを行い、管理者と各フロアのリーダーで運営に関する課題などを話し合う機会を設けている。</p> | | |
| 12 | | <p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p> | <p>半期ごとに人事評価における目標設定を行っている。自己評価に基づき、管理者が面談し、それぞれの目標に対してアドバイスを行っている。</p> | | |
| 13 | | <p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p> | <p>施設内研修を定期的に行っている。今期は外部講師（薬剤師と歯科医師・歯科衛生士）を招いて研修を予定している。</p> | | |
| 14 | | <p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p> | <p>外部研修に参加した際などに同業者との交流を図っている。今後は同法人内の他事業の職員と勉強会や交流を図れる機会を計画していきたい。</p> | | |
| 。 | | | | | |
| 15 | | <p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p> | <p>入居前に本人、家族と事前面談を行い、アセスメントをとり不安や要望をヒアリングしている。事前面談で取得した情報を速やかにスタッフに提供することで、入居後不安なく生活ができるように努めている。</p> | | |

| 自己 評価 | 外部 評価 | 項 目(Bユニット) | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------|----------|--|---|------|-------------------|
| | | 上記項目欄の()内へユニット名を記入願います | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 16 | | <p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p> | <p>事前面談で家族等の不安や要望をヒアリングし、気軽に相談できる雰囲気作りを心がけている。</p> | | |
| 17 | | <p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p> | <p>スタッフが専門的な見地から課題を見極め、ケアプランに優先度の高いサービスを位置づけるようにしている。</p> | | |
| 18 | | <p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p> | <p>スタッフは家族的なかかわりを大切にし、その方のできることを尊重し日々の生活に取り入れるようにしている。また、レクリエーションなどを通じて他の入居者との関わりを支援している。</p> | | |
| 19 | | <p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p> | <p>できるだけ面会にお越しいただけるように行事等の案内を送ったり、日常生活のいち場面を写したアルバムを玄関に設置するなど、ホームでの生活を理解いただけるように努めている。</p> | | |
| 20 | 8 | <p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p> | <p>昔からのつながりのある友人や知人なども面会があったり、手紙が届いたりしている。</p> | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目(Bユニット) | 自己評価 | 外部評価 | |
|-----------------------------------|------|---|---|------|-------------------|
| | | 上記項目欄の()内へユニット名を記入願います | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。 | 日常の活動をつうじて利用者同士が交流を図れる機会を設けている。交流が難しい方には職員が介入してできるだけ同じ空間で取り組むことができるように支援している。 | | |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。 | 必要性があれば支援したいと考えている。 | | |
| Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | 9 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。 | 利用者毎に担当職員をつけており、一人ひとりのホームで生活するうえでの意向をヒアリングしている。意思表示が難しい方については、その方の思いを推察し、ご家族の意見を踏まえ、本人本位で検討している。 | | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。 | 入居前に本人、家族と事前面談を行い、生活スタイルや趣味などをホームでのサービスにつなげている。 | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。 | アセスメントを通じて一人ひとりの生活を把握している。活動についてもそれぞれの過ごし方を尊重し、無理強いをしないように努めている。また、自分でできることは行ってもらうように支援している。(洗濯物たたみ、掃除、調理前の下処理など) | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目(Bユニット) | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|------|-------------------|
| | | 上記項目欄の()内へユニット名を記入願います | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 26 | 10 | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。 | 各担当によるアセスメントやモニタリングをもとに、計画作成担当者が本人や家族の意向を踏まえて作成している。サービス担当者会議に出席してもらい、参加が難しい場合は事前に意向を確認している。 | | |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。 | 日々の生活記録に記入している。課題などが発生した場合は、フロアリーダーや管理者に報告し、サービスを改善したりケアプランの見直しを図っている。 | | |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。 | 歩行状態が低下した利用者に対して福祉用具業者と連携し、歩行器のレンタルを手配したり、個々のニーズに対して迅速に対応している。 | | |
| 29 | | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。 | 近所に買物をする場所がコンビニのみ。散歩の距離としては充分で、外出欲求の強い方と出かけたり、ホームの牛乳や本人の好きなもの、必要なものを選んで購入するという、今までの暮らしのなかでやっていたことを、地域の資源であるコンビニを利用することで思い出し、楽しんでもらえるように支援している。 | | |
| 30 | 11 | ○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。 | 2週間に1度主治医の往診がある。入居前からのかかりつけ医がいれば、家族の通院にはなるが、ホームでの生活状況を情報提供している。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項 目(Bユニット) | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|------|-------------------|
| | | 上記項目欄の()内へユニット名を記入願います | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 31 | | ○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。 | 週1回訪問看護師に利用者の健康状態をFAXにて情報提供している。健康面で気にある方がいれば、その都度連絡し、医療面の指示等を仰ぎ、必要に応じて通院を行っている。 | | |
| 32 | | ○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入院時には、必ず体調やホームでの生活状況を入院先に情報提供している。退院時には、医療機関の退院時カンファレンスに参加し、戻ってきてからのサービスにつなげている。 | | |
| 33 | 12 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。 | 重度化対応・終末期ケア対応指針を家族に提示し、同意を得ている。なじみの関係での生活を維持できるように、医療関係者などを中心に支援に取り組んでいる。 | | |
| 34 | | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。 | 緊急時には緊急連絡網を活用し速やかに対応できるようにしている。また、救急救命講習の受講を励行している。 | | |
| 35 | 13 | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。 | 年2回の消防訓練を行い、災害時に対応できるようにしている。また、ホームが河川付近に建っているので土砂災害時の避難確保計画を策定し、災害時は避難できるようにしている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目(Bユニット) | 自己評価 | 外部評価 | |
|--------------------------|------|---|---|------|-------------------|
| | | 上記項目欄の()内へユニット名を記入願います | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | 14 | ○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。 | 一人ひとりの性格や生活歴を理解したうえで、その人に合わせた言葉かけや対応を行っている。 | | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。 | 日常生活でサービスを提供するときは、必ずどうしたいかを確認したうえで行うようにしている。 | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。 | 基本的な日課は決まっているが、レクリエーションなどで気分が乗らない時は休んでいただいたり、希望により外気浴を行うなどして、利用者本人のペースを大切にしている。 | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。 | 訪問理美容が2ヶ月に1度来ている。洋服の購入についても、希望があれば職員と一緒にいく事もある。また、口紅やマニキュアなどのおしゃれも楽しんでいる。 | | |
| 40 | 15 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。 | 行事などでは、食事の下ごしらえや盛り付けなどを手伝ってもらったり、後片付けも一緒に行っている。ホームの畑で育った野菜と一緒に収穫し、調理して食卓に提供することで季節を感じ楽しんでいただいている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項 目(Bユニット) | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|------|-------------------|
| | | 上記項目欄の()内へユニット名を記入願います | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 41 | | <p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p> | <p>個々の食事形態を把握し、食事量を記録している。やわらか食を提供したり、体重等を確認しながら高カロリー飲料を提供するなどして、体調管理に努めている。水分についても脱水症状にならないように定期的に水分を提供している。</p> | | |
| 42 | | <p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p> | <p>毎食後、口腔ケアを実施している。週1回訪問歯科診療が来訪しているので、口腔の問題が発生した場合には、速やかに連携を図っている。歯科医師から口腔ケア後の仕上げの歯磨きが必要な方に関しては、歯間ブラシを使った介助も行っている。</p> | | |
| 43 | 16 | <p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p> | <p>一人ひとり排泄記録をつけており、便秘の方には排便コントロールを行い、無理なく排泄ができるように支援している。また、ポータブルトイレを活用し、夜間安全に排泄できるように取り組んでいる。</p> | | |
| 44 | | <p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p> | <p>便秘解消を下剤だけに頼らず、お通じの改善に役立つ食物繊維を飲用してもらっている。また、体操や歩行などを通じて、腸を動かすように努めている。</p> | | |
| 45 | 17 | <p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p> | <p>基本的には1週間に2度は入浴できるように、曜日を決めて対応しているが、体調や外出等の場合は変動して対応している。</p> | | |

| 自己 評価 | 外部 評価 | 項 目(Bユニット) | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------|----------|---|---|------|-----------------------|
| | | 上記項目欄の()内へユニット名を記入願います | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて 期待したい内容 |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。 | 昼夜逆転にならないように、日中はできるだけ活動や外気浴をすることで、夜間安眠ができるように支援している。 日中も短時間居室で休息できる時間も設けている。 | | |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。 | 一人ひとりの処方内容をファイリングし、職員は常に確認できるようにしている。薬局とも連携し、薬の形状(散剤⇔錠剤)を見直したり、トロミをつけるなど、利用者が服薬しやすいように配慮している。 | | |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。 | ホームの手伝いを行うことで精神的に安定を図れる利用者もいるので、手伝い(掃除や洗濯物たみなど)をお願いしている。行事には外出や嗜好品の購入などを行い、日々の生活に喜びや楽しみをもてるように支援している。 | | |
| 49 | 18 | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。 | 日常的な外出支援は難しいが、洋服や化粧品などの買物の希望があれば可能な限り外出支援を行っている。家族に対しても無理のない範囲で外出機会を設けていただけようにお伝えしている。昨年は広島市内のマリホ水族館に全員で外出しました。 | | |
| 50 | | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。 | 利用者がお金を自分で管理することはないが、買物の際などの支払い時に職員の見守りのなかで代金を払っていただくことはある。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項 目(Bユニット) | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|------|-------------------|
| | | 上記項目欄の()内へユニット名を記入願います | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 51 | | <p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p> | 利用者本人からの依頼があればいつでも対応可能としている。 | | |
| 52 | 19 | <p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p> | 利用者が集まる食堂は、季節の歌や共同で作成した製作物を掲示し、家庭的な雰囲気を作り出している。また、毎日換気を行い室温調整を行うことで、感染症を予防し快適に過ごせるように配慮している。 | | |
| 53 | | <p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p> | 一人で過ごしたい場合はいつでも居室で過ごすことができる。気の合う利用者同士でコミュニケーションが取れるように、座席を近くにするなどの配慮をしている。 | | |
| 54 | 20 | <p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p> | 入居前に利用者本人が使い慣れたものをご持参いただくように伝えている。昔使っていたものが近くにあることで、落ち着いて過ごすことができるように工夫している。リクライニングのチェアやミシンなど本人らしさのある居室にしている。 | | |
| 55 | | <p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p> | 居室にはそれぞれ利用者の顔写真と名前が貼られており、自分でどの居室か判別できるように工夫している。また、花を生けることのできる方に生けてもらったり、利用者ができることを活かせるように支援している。 | | |

| V アウトカム項目(Aユニット) ← 左記()内へユニット名を記入願います | | | |
|--|--|---|---|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 | ○ | ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない |
| 57 | 利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある | ○ | ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない |
| 60 | 利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない |
| 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています | ○ | ①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない |

| | | | |
|----|---|---|---|
| 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている | ○ | <input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない |
| 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている | ○ | <input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない |
| 66 | 職員は、生き活きと働けている | ○ | <input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない |
| 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | ○ | <input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない |
| 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | ○ | <input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない |

| V アウトカム項目(Bユニット) ← 左記()内へユニット名を記入願います | | | |
|--|--|---|---|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 | ○ | ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない |
| 57 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある | ○ | ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない |
| 60 | 利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない |
| 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています | ○ | ①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない |

| | | | |
|----|---|---|---|
| 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている | ○ | <input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない |
| 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている | ○ | <input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない |
| 66 | 職員は、生き活きと働けている | ○ | <input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない |
| 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | ○ | <input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない |
| 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | ○ | <input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない |

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム「こもれびの家」

作成日 平成30年8月20日

【目標達成計画】

| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点, 課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
|------|------|-----------------------|--|---|------------|
| 1 | 1 | 事業所理念の達成度について評価していない。 | 職員が考えた理念である「たくさんの笑顔」が利用者にみられるよう取り組んでいるか、職員一人一人に検証していく。 | 平成30年度下期の人事評定時に個々の職員と面談を行う際に、理念の実践と取り組みについて確認し、達成度について評価していく。 | 6ヶ月 |
| 2 | | | | | |
| 3 | | | | | |
| 4 | | | | | |
| 5 | | | | | |
| 6 | | | | | |
| 7 | | | | | |

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。